



第 14 号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

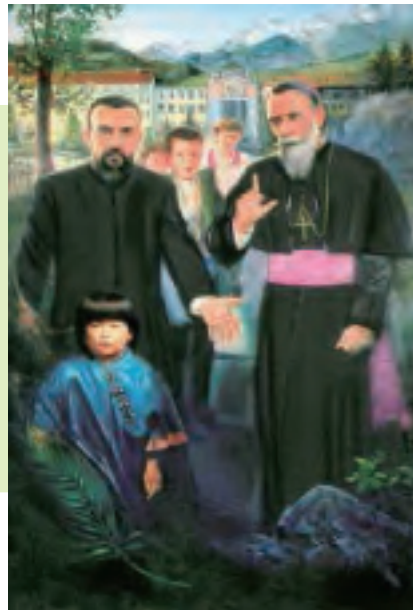
2010 年 2 月 11 日

なぜ、福音宣教？

宣教師、サレジオ会員、サレジオ・ミッションの友人の皆さん！

サレジオ会の殉教者の初穂、聖ルイジ・ヴェルシリア、聖カリスト・カラヴァリオの月に（1930 年 2 月 25 日に殉教）、皆さんにごあいさつ申し上げます。総長によるストレンナは、イエスの弟子、宣教師として成長するよう、私たちに呼びかけるものです。しかし、私たち自身の継続的な福音化なしに、私たちは若者への信頼に足る証し人にはなれません。まさにこの順番です！日々、忠実な弟子として成長するにしたいが、ますます神の愛の信頼に足るしるし、担い手になっていくのです。

最も信頼に足る証し人である私たちが殉教者たちと共に、この基本的な問いに容易に答えることができます。なぜ福音宣教なのか？ なぜ宣教師として地の果てまで行くのか？



2 月 25 日
サレジオ会殉教者の初穂
聖ルイジ・ヴェルシリア
聖カリスト・カラヴァリオの祝日

私はこの問いを若い会員たちに投げかけてみました。すでにさまざまな答えが返ってきています：

- ◆第一の理由は、受けた信仰というすばらしい賜物を分かち合うべきだから。
- ◆毎回、聖体祭儀の終わりに、主によってこの世へ遣わされるから。「行って福音を宣べ伝えなさい」。
- ◆主イエスを信じる私たちにとって、福音宣教は召命だから。
- ◆洗礼を受けることによって、私たちは宣教師となったから。
- ◆すべての若者はイエス・キリストを知る権利があるから！

この 2010 年、私たち一人ひとり、私たちを待つ若者たちになぜ福音を運ぶのか、動機を深めるように呼ばれています。私たちはこの問いを心のなかで思いめぐらすのです！

宣教師顧問

ヴァツラフ・クレメンテ神父

アメリカ大陸のための宣教師募集

管区 - 国	必要な言語	環境、宣教師に求められること
BMA - ブラジル アマゾニア	ポルトガル語 地元の言語	先住民族の人々の中での宣教
BRE - ブラジル 北 東	ポルトガル語	会員を送って欲しい (管区長から総長への要望 2008)
ARS - アルゼンチン パタゴニア	スペイン語	サレジオ会の最初の宣教地。司牧者が少ない 先住民族の人々の中での宣教 (マップチなど)
PAR - パラグアイ チャコ使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	サレジオ会員が少ない。宣教活動の再建
PER - ペルー プカルパ使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	アマゾンの宣教地。会に委託された使徒座代牧区 ヴァル・サグ・ラトのケチュア族。アシュル族
VEN - ベネズエラ アマゾン使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	アマゾンの宣教地。会に委託された使徒座代牧区 ヤノマニ族
ECU - エクアドル メンデス使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	アマゾンの宣教地。会に委託された使徒座代牧区 アシュル・アシュル族ケチュア族 (アンデス地方)
CAM - グアテマラ エル・ペテン使徒座代牧区	スペイン語 地元の言語	先住民の中での宣教。 現在、サレジオ会員は一人だけ (司教)

お知らせ

2010年サレジオ宣教の日はいつ？
管区や地方がそれぞれの予定にしたがい、宣教の日を決めています。多くの管区ですでに日取りを決めています：イタリア(2月7日)、ポルトガル(1月25-31日)、ベトナム(11月11日)、スペイン(5月)。資料はサレジオ会本部のホームページを参照、またはスタニスワフ・ラファウコ神父にお問い合わせください。

[cagliero11@gmail.com]

第141回宣教派遣

現在、世界五大大陸出身の177名の会員が識別を行っています。そのうちの49名は、すでに願書を総長に提出しています。新しい宣教師のための研修コースは2010年9月2-26日に行われます(ローマで16日間、ドン・ボスコゆかりの地で8日間)。宣教の十字架の授与は2010年9月26日。このコースは、派遣時にオリエンテーションを受ける機会のなかった宣教師にも開かれています。お問い合わせは、アルフレド・マラヴィラ神父へ。

[cagliero11@gmail.com]

宣教師のための生涯養成コース

2010年9月20日から12月5日まで、ローマの教皇庁立サレジオ大学で行われます。1995年以来、約250名のサレジオ会員と300名の修道者宣教師が、宣教師としての生き方を刷新し深めるため、このコースを受講しています。お問い合わせは、ディオニジオ・パチェコ神父へ。

[cagliero11@gmail.com]

…パタゴニアより

こちらは万事順調です、かなり寒いですが。今は春なのに、ジャラバコアにいるようです。朝から夜までたいへん寒く、夜間は気温がかなり下がります。これが春なら、冬はどうなるのでしょうか！ 一日24時間冷

房を入れているかのようです。

こちらの習慣についていえば、徐々に適応しています。スケジュールはめちゃくちゃで、ひどいものです！でもあまり気にしません。人間はあらゆる状況に適応できるのです！この週末、「探検者たち」という若者のグループと過ごしました。私たちは金曜日の夜から日曜日の夜まで、若者たちとキャンプをしました。とても良い体験でした。なぜなら、共にいることによって、少しずつ彼らについて、また彼らの状況についてわかるようになるからです。今度の水曜日に出発し、月曜日まで、ドルディレラスの全寮制学校に行ってきます。学校の責任者で共同体の院長でもあるオノリオ神父に同行を頼まれたのです。唯一心配なのは、寒さです。時には極端になるからです。私はこの寒さを経験したことがありません。でも心配はやめよう、人間はあらゆる状況に適応できるのだから。これまでのところ、神様の恵みによって私はとても幸せです。仕事はたくさんあり、そのことは気に入っています。夜休む時、疲れているなら、その一日の仕事がすばらしかったということ、実にサレジオ的なことです。

では、ここまでにして、神様と扶助者聖マリアが皆さんを豊かな恵みで満たし、心の知恵を与えてくださるよう、お祈りします。

ドルズニエ・ミュレ・ロペス修士
在アルゼンチン、キューバ出身の宣教師



Salesian Missionary Intention

すべての管区の宣教地のために

すべてのサレジオ会管区が、普遍教会とサレジオ会の大きな宣教の必要性に対して、開かれた姿勢を成長させますように。

宣教活性化のおもな目的の一つは、宣教師の召命(ad gentes-ad extra-ad vitamすべての人へ、外へ、生涯へ)の促進です。これは地域教会による宣教への取り組みの、最もわかりやすい表現です。第26回総会もすべての管区に呼びかけています(49)。この2月、サレジオ会の宣教師の召命のために祈り、サレジオ会宣教地の大きなニーズについて人々に知らせ、若者や若いサレジオ会員一人ひとりに宣教に取り組むよう呼びかけ、召命識別の道を共に歩むよう、私たちは招かれています。この取り組みに貢献できないほど人材において貧しい管区はありません。



問い合わせ・ご意見は、cagliero11@gmail.comへ